

校長室だより

令和3年度

8月

第2ステージはじまり号

令和3年8月30日(月)
志免町立志免東小学校
校長 宮邊 淳一

第2ステージよろしくお願いたします



校内に子どもたちの声が響いています。夏休み後半には、大雨が続き、土砂災害や水害等の被害はなかったか、心配しておりました。

第2ステージが始まりました。オンラインでの朝の会、健康状態をうかがうアンケート、お電話。夏休み期間中も、各ご家庭に様々なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。感染状況の広がりを見せる中、第2ステージも学校生活に制限がかかっていくことが多くなっていくかと思いますが、限られた状況の中でも、子どもたちの最大限の力が発揮できるよう支援して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

学校からもメールや文書でお知らせしているところですが、まずは感染症拡大防止に向けた対応をしていきます。特に、以下の内容については特にご協力ください。

○お子様や同居家族に、以下のような風邪等の症状がみられる場合は学校へは登校させず、保健所や病院の指示に従い、速やかに学校に連絡する。

37.5度以上、息苦しさ、強いだるさ、味を感じない、においを感じない、咳、のどの痛み、食あたりを除く下痢

まずは、安全・安心な環境づくりを心がけたいと考えます。よろしくお願いたします。

よいよい人間関係づくりに向けて



夏休みの職員研修で、次のような資料に出会いました。

- ① 友だちの話を聞くときは、何を言いたいかわかろうと最後までしっかり聞きましょう。聞くとは、心をつなぐことです。
- ② 言いたいことを、みんなに聞こえる声で、みんながわかるように伝えましょう。みんなに伝わる声や話し方を意識することは、思いやりの第一歩です
- ③ 自分の感じたこと、思ったこと、考えたことを間違っているかなと思っても、そのまま話しましょう。主張するとは、自分自身を大切にすることでもあります。
- ④ わからない友だちには、自分のわかり方を説明しましょう。説明するとそれが自分の力になります。
- ⑤ わからないときは、わかるまで何度も聞き(尋ね)ましょう。学ぶとは、疑問に思うことであり、それを問うことです。
- ⑥ 人をばかにしたり、笑ったり、ひやかしたり、無視したりすることはやめましょう。それは人間としてとても悲しいことです。相手を大切にすることは人権尊重の第一歩です。
- ⑦ 友だちの話をよく受け止めてから、自分の考えを整理したり、まとめたりしましょう。集団思考は、受け止めることから始まるし、話し合いは聴き合いだからです。
- ⑧ 話している人が誰かではなく、話の中身をよく聞いて、考え、判断しましょう。他者の話す中身を参考にしたり、生かしたりするからこそよりよい判断や結論が見いだせるのです。
- ⑨ 自分の考えに固執したり、無理に押し通そうとしたりしないようにしましょう。わかり合いや共感、折り合いは、共に生きていく人間関係づくりの第一歩です。
- ⑩ 違う考え、異なる意見をできるだけ大切にしましょう。違いや多様性を大事にするからこそ、新しい考えが生まれるのです。そして、いじめの未然防止は、違いを排除しないことから始まります。

研修で学んだことは、私たち教師は、学年・学級でいろいろなルールを呼びかけますが、その活動にはそれぞれ意味があり、それを1つ1つ子どもたちと共有しながら進んでいきましょう、ということ。特に、お互いを大切にしていこうとする人権感覚については教師として高めていかなければならないものだと感じています。話し合う活動というのは今、控えていかなければならないのですが、その根底にある内容は教師自身が大切にしながら進んでいきたいと思っています。

「よいよい人間関係を築く学校生活や授業」文部科学省初等中等教育局 視学官 杉田 洋 「話し合い10のルール」より